

# ゆのまえ 議会だより



No. **53**  
令和7年  
2月1日発行

「住民に見える議会」  
「住民が参加しやすい議会」  
「議会力・議員力の向上」を実現する

## まっすぐな未来への思い



P2 **特集1** 中学生が考える町の課題

P4 **特集2** 「担い手」と「関わりしろ」を育てる現場に学ぶ

P6 **本会議** 暮らしと地域産業を支える

P8 **一般質問** 4人が執行部の考えを質す

P13 **全員協議会** 地デジ難視聴世帯解消支援事業

P14 **議員派遣** 一般質問は「住民のための対話」

P16 **委員会** ふるさとを学び、未来を育む教育

P18 **議会の窓**

P19 **一部事務組合** 暮らしに直結する利用料改定

P20 **住民の声** 子ども議会に参加して

### 今号の画像

子ども議会では、高齢化や少子化、住まい、産業、教育などの課題をテーマに、班ごとに調査・整理した内容をもとに、一般質問形式で質問を行い、執行部から答弁を受けました。本会議に準じた進行のもと、生徒が自ら作成した質問を順に述べ、考えや根拠を示しながら質疑を行いました。

特集(2ページ)につづく・・・

特集 1 第9回子ども議会

# 中学生が考える町の課題

## 班ごとに学習成果を発表

湯前町の子ども議会が9月29日に町議会議場で開かれました。中学3年生が議員の立場で、班ごとにテーマを定めて質問しました。町では、平成29年度から子ども議会を開いており、今回で9回目となりました。これまでいろいろな「まちづくり提案」が示され、事業化されたものもあります。町執行部からは、長谷町長や栃原教育長、各課の課長らが出席し、金子議長が議事を進行しました。中学生と大人が真剣に向き合う子ども議会が、本町の特色です。子ども議員は、大人の議会と同じ方法で発言し、議員や教職員、保護者が傍聴しました。

閉会后、酒井勇一校長は「実際に質問をしてみて、できることとできないことが分かったと思う。今回の経験をいろいろな形でものにしながら、将来に生かしてほしい。」と述べられました。





一般質問を終えた子ども議員ら

班	質問項目	質問内容
A (6名)	ワークキャンプ	①高齢者と関わる貴重な体験のできるワークキャンプの回数を増やしてはどうか。
	高齢者の交通手段	①高齢者の交通手段を増やすために、バスやタクシーの無償化やシニアカーの使い方講座、一日借用制度に取り組んではどうか。
B (6名)	湯前町の少子化対策	①町の少子化対策のため、「コウノトリBOX」の制度を導入してはどうか。
C (6名)	野良猫の対策	①野良猫の対策のため、クラウドファンディングを利用し、猫の病院代に充てたり、猫の保護施設を作ってはどうか。
	ソーラーライトの設置	①交通事故防止、防犯対策のために国道沿い以外の道路で外灯が少ない地域にソーラーライトを設置してはどうか。
D (7名)	湯前町のSNS活用	①湯前町の認知度向上のため、積極的にSNSを活用する考えはないか。
	マルシェの開催	①マルシェを開催して、湯前町のお店を知ってもらうきっかけにしてはどうか。
E (6名)	各種検定料の補助	①漢字検定や数学検定などの受験料について補助制度を創設する考えはないか。
	地域交流の場の設置	①地域にある公民館を開放し、自由に勉強したり、交流したりできる場を設ける考えはないか。

※『子ども議会の会議録』は議会事務局で閲覧できます。お気軽にお尋ねください。

特集 2 産業行政視察研修

「担い手」と「関わりしろ」を育てる現場に学ぶ

農業公社の受委託と研修体制  
 神山町の「創造的過疎」の発想

町の産業を将来につなぐには、担い手不足への備えと、外からの人材・仕事の流れをどう生み出すかが大きな鍵になります。湯前町でも、10年後に耕作者が未確定となる農地が127.4haと予測されるなど、課題は一層深まる見込みです。また現在、町ではサテライトオフィスの整備も進んでおり、施設を「建てる」だけでなく、どのように活用し、関わる人や仕事の流れを生み出していくかが問われています。そこで令和7年11月5日・6日、産業行政視察研修を実施し、公益財団法人 吉備中央農業公社(岡山県吉備中央町)と、認定NPO法人 グリーンバレー(徳島県神山町)を訪問。現場を支える「仕組み」と、挑戦が生まれ続ける「環境づくり」の考え方を学びました。



吉備中央町農業振興センターで公社運営を学ぶ

公益財団法人 吉備中央農業公社(岡山県吉備中央町)

1) 地域農業を支える「受委託」の発想

吉備中央農業公社では、稲作を中心に、地域の農作業を受託する仕組みを整え、農家の負担軽減や農業継続を支える考え方が示されており、地域全体の生産基盤を守るという視点が印象的でした。

2) 担い手育成を「継続運用」する体制

研修(ぶどう:ピオーネなど)の受入においては、研修ほ場の確保や指導体制など、単発で終わらない仕組みづくりが紹介されました。担い手確保を制度として回すための設計は、今後の検討における大切なヒントになりました。

3) 湯前町への重ね合わせ(農業公社の方針と接続)

湯前町農業公社でも、これまでの除草作業中心から、耕起・代かき・田植えなどの受託作業を拡充する方針が示され、拡充にはオペレーター確保と、チラシ配布・HP掲載などの定期的な周知が必要と整理されています。

吉備中央の事例は、こうした方針を具体化していくうえで、受委託の組み立て方や運営の考え方を学ぶ機会となりました。



認定NPO法人グリーンバレーで活動の背景や人の集まり方を学ぶ

## 認定NPO法人グリーンバレー（徳島県神山町）

### 1) 創造的過疎——「人口規模」よりも「起きる仕組み」

神山町を題材にした研修では、「創造的過疎」という考え方のもと、人口5000人規模の町で新しい展開が次々に起きる背景が紹介されました。ポイントは、特定の事業を「つくる」というより、挑戦が芽吹く「環境(関係性・場・受け皿)」を育ててきたこと。サテライトオフィスも「作ったのではなく、勝手に生えてきた」という言葉が象徴的で、外からの動きに触発されて地元側の挑戦も連鎖していく構図が語られました。

### 2) 原点は「地元の理事たちが動いた」こと

設立の経緯として、地元の事業者らが中心となり、国際交流をきっかけにアーティスト・イン・レジデンスへと発展し、共感した人々のつながりが広がり、多様な人材が集まっていったことが強調されました。「移住者」と「地元」が混ざり合い、プロジェクトが自然に生まれる土壌ができていく過程は、地域の未来像を考える上で示唆に富む内容でした。

### 3) 湯前町のこれらに向けて

湯前町でもサテライトオフィス整備が進む中、建てることそのものより、どう使われ、どんな人の流れが生まれるかが重要になります。神山の事例は、拠点成果物ではなく、挑戦が育つ舞台装置として捉える視点を与えてくれました。

### 研修を終えて（まとめ）

成果とは、「単発の事業」だけでなく、日々の運用体制や人が関わり続ける土台の上に積み重なっていくものだ学びました。湯前町においても、限られた人員と財源の中で何を優先し、官民でどう役割を分担するかの整理が求められます。今後は、人材確保や拠点の活用方針などの課題を具体的に洗い出し、執行部や関係者と連携して議会での議論を深め、次の施策へとつなげます。



# 暮らしと地域産業を支える

## 主な補正は蔵元支援と観光施設修繕

### 補正予算

#### 人吉球磨一体で支援 球磨焼酎蔵元支援給付金

200万円

球磨焼酎は米を主原料とし、GI制度でも国産米の使用が条件とされています。一方で、原料米の価格高騰の影響を受けやすく、価格転嫁が難しい状況です。こうした背景から、球磨焼酎の事業継続を支援するため、「球磨焼酎蔵

元支援給付金」を支給します。

給付対象は、町内に事業所を有する球磨焼酎製造者です。

対象期間内に購入した原料米の実績に応じて、給付金を支給します。給付額の上限は1社あたり100万円。財源は

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を全額充当します。

本事業は、人吉球磨の市町村が連携して実施する支援策です。地域文化や観光資源でもある球磨焼酎を支える取り組みです。

#### 教えてゆっくん

#### GI制度ってなに？

地域ならではの品質や製法を国が認め、基準を満たしたもののだけが「球磨焼酎」と名乗れるように守る仕組みだよ。



#### 湯楽里の安全・快適性を向上 観光施設修繕補助金

160万円

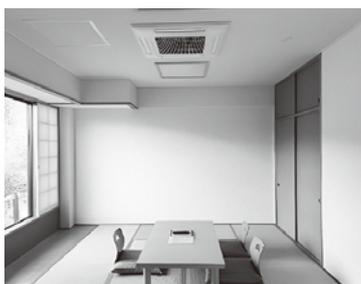
観光施設の維持と利用者満足度の向上に向け、「ゆのまえ温泉 湯楽里」の修繕を支援します。宿泊棟の101号室・102号室は、部屋を仕切る壁の防音性が十分でなく苦情が寄せられていました。

現在は、同時予約を受け付けない運用で対応している状況です。防音性能を高める改修により、快適性の向上と

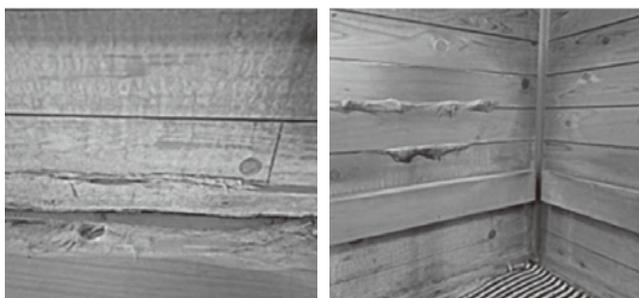
稼働率改善を図ります。

また、本館温泉待合室では床材の浮き上がりによる段差が生じ、転倒リスクがあるため床板を改修します。男子サウナ室では、経年劣化でささくれが発生しています。けが防止の観点から修繕します。

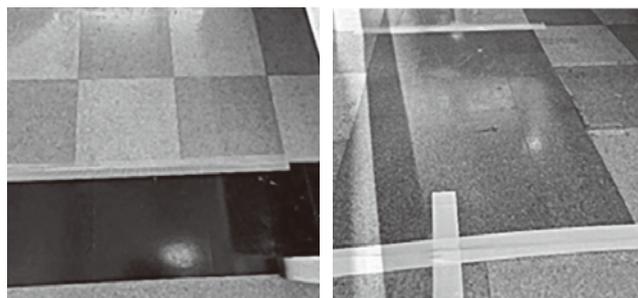
補助額は、①宿泊棟壁改修60万円、②待合室床材改修80万円、③男子サウナ室改修20万円、合計160万円です。



①防音効果が不十分な宿泊棟の壁



③ささくれができて危険性のある男子サウナ室



②経年劣化により段差が生じている待合室床材

条例改正

湯前町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

国の制度改正により、就労要件を問わず利用できる「子ども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)」が導入されました。町では令和8年度からの実施に向け、設備・運営の基準を定める条例を制定する方針が示されました。

利用対象は、生後6カ月から3歳未満で、保育所などに通っていない子どもです。利用は、申請により町が認定します。月の利用枠の範囲で、時間単位など柔軟に利用できます。事業所との直接契約を基本とし、予約システムの活用を前提にしています。町が利用状況を把握し、支援が必要な家庭を捉えることも可能になります。

- 0歳
- 1歳
- 2歳
- 3歳
- 4歳
- 5歳
- 6歳

就労条件あり

保育園、認定こども園  
※小学校就学まで

小学校

就労条件なし

子ども誰でも通園制度  
「就労要件を問わない」「月一定時間までの利用可能枠」「時間単位の柔軟な利用」  
※0歳6カ月～満3歳未満の子どもが対象

幼稚園  
※満3歳～小学校就学まで

その他の議案

工事情負契約の締結  
農林第30号辻地区沈砂池整備工事  
契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は6105万円、契約の相手方は「有限会社グリーンテック」です。

湯前町教育委員会委員の同意  
林敦子さんを再任  
教育委員の任期満了に伴い、長谷町長より林敦子さん(下城区)の任命を求められ、議会は全会一致で同意しました。(任期4年)

議案審議の賛否一覧 [議案16件、承認2件、同意1件(10月～12月)]

議案	田山 幸平	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	味岡 恭	倉本 豊	山下 力	金子 光喜	審議結果 (賛成：反対)
10月臨時会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
12月定例会 議案、承認、同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対(今回なし) -：採決なし(議長は採決に加わりません)

一般質問

# 4名が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
遠坂 道太	①稼げる農業の実現を目指す農業施策	9
西 靖邦	①駅周辺の空き地の現状と有効活用	10
倉本 豊	①農業振興に関する町単独補助事業	11
椎葉 弘樹	①「暮らしの便利帳」のリニューアルと広報 ②持続可能なまちづくりに向けた建設業の担い手支援	12

## 特別企画 前回一般質問 YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議員名	9月一般質問
山下 力	135
椎葉 弘樹	131
遠坂 道太	57
吉田 精二	54

(令和8年1月1日時点でのアクセス数)

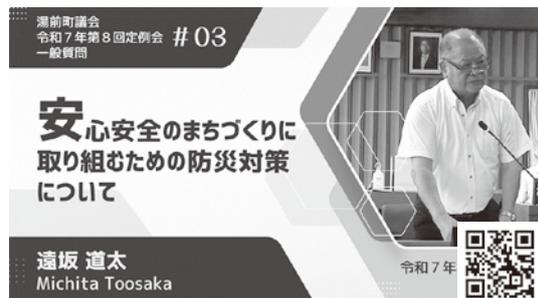
## 一般質問の YouTube動画配信

一般質問は、YouTubeで動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。「いいね」や「チャンネル登録」をよろしくお願いします。



© YouTube 動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

## 前回一般質問のYouTubeサムネイル



# 問 稼げる農業の実現を目指す 農業施策

# 答 所得向上と経営改善に繋 がる農業施策を推進

議員 現状の湯前町の農業課題をどう捉えているか。

課長 日本の農業は、高齢化、人手不足、収益性の低下、圃場の分散、物流制約、気候変動、国際価格競争、輸出の壁など、多重課題に直面している。

自然条件に左右されやすく、収益が安定しにくい点も大きな課題。農繁期の人手不足や

作業の見える化・効率化が難しいことも日々の営農における課題。生産面では「中山間地域」、販売面では「消費地からの距離」など、地理的条件での課題。経営耕作面積や規模別の農家戸数を見ても、

小規模、零細分散型の営農形態が主体であり、農地の流動化も進まない。遊休農地の増加や有害鳥獣対策が必要な点も課題となっている。その中で、一番の課題は、高齢化、

後継者不足、新規就農者の確保が困難など、担い手の面である。

議員 農業の持続的な成長に向けてどのような農業施策に取り組んでいくのか。

課長 農業振興検討委員会の中で、町単独補助事業の見直し、湯前町が目指す農業のあり方、支援のあり方も議論されている。例えば、農業公社の理事会、農業委員会と認定農業者との懇談会を行っている。地域計画に伴う地域での話し合いを通じて、さまざまな意見や要望をいただいている。総合的視点を持って、農業の維持・振興を継続的に検討している。

また、議員の提言事項、議会の意見などを受け止めて、真剣に農業振興に向けて努力する考えである。

町長 次世代に繋ぐ持続可能な農業を推進するため、各種委員会や現場の声を聴きながら、農業後継者や新規就農者の確保育成を支援する。

認定農業者などの意欲ある農業者に対して、経営基盤の強化を促進し、担い手支援も推進したい。また、地域計画制度の中で農地の集積を進め、水路の改修、基盤整備事業も進めている。公社の果たす役割、その強化・変更も図り、最終的には農業者の所得向上や経営改善に繋がる施策を推進したい。

議員 農業の持続的な成長に向けてどのような農業施策に取り組んでいくのか。

課長 農業振興検討委員会の中で、湯前町が目指す農業のあり方、支援のあり方も議論されている。例えば、農業公社の理事会、農業委員会と認定農業者との懇談会を行っている。地域計画に伴う地域での話し合いを通じて、さまざまな意見や要望をいただいている。総合的視点を持って、農業の維持・振興を継続的に検討している。

また、議員の提言事項、議会の意見などを受け止めて、真剣に農業振興に向けて努力する考えである。

認定農業者などの意欲ある農業者に対して、経営基盤の強化を促進し、担い手支援も推進したい。また、地域計画制度の中で農地の集積を進め、水路の改修、基盤整備事業も進めている。公社の果たす役割、その強化・変更も図り、最終的には農業者の所得向上や経営改善に繋がる施策を推進したい。



遠坂 道太 議員



質問の様子は  
こちら



農地の集約による環境に配慮した農業の取り組み

### 議員の



現在の農業に向けての農業施策を立案し、将来に向けた農業施策に期待します。



西 靖邦 議員



質問の様子は  
こちら

## 問 駅周辺の空き地の現状と有効活用

### 答 中長期的に検討する姿勢

議員 駅周辺の空き地の現状と課題をどう考えているか。

課長 南側の空き地は町が賃貸借契約を結び、雑草の繁茂など現地確認を行い、適切に管理している。東側は民有地であり、管理は所有者の責任となるが、支障が生じた場合は管理を依頼し助言を行う。

議員 2つの空き地の位置づけと基本方針をどう考えているか。

課長 駅前の重要な土地と認識しているが、公共利用や民

間活力の導入を含め、現時点で具体的な活用方針は定めていない。

町長 南側は駐車場利用を検討したが、売却の合意が得られず断念した。東側も具体的な用途がなく、計画に位置付けていない。

議員 暫定的な活用の可能性を検討してどうか。

課長 賑わい創出の観点から意義はあるが、南側は更地利用を条件とした賃貸借契約であり、現状は駐車場利用を基本としている。

町長 移動式など試験的活用

の提案は理解するが、契約条件や費用、財源を含め慎重な確認が必要であり、今後調査したい。

議員 駅周辺整備の中長期的なビジョンをどのように考えているか。

町長 駅周辺は、町の顔となる重要なエリアであり、交流人口の拡大や回遊性のある拠点形成を目指して整備を進めてきた。これまで、住民参加のワークショップを重ねながら、レールウイング整備や関連事業に取り組んできた。今後も単なる施設整備にとどまらず、子育て世代や来訪者が集い、歩きたくなる空間づくりを意識したまちづくりを進めていく。空き地の活用は、土地所有者の意向や権利関係、財政状況を十分に踏まえ、住民意見を聞きながら中長期的な視点で進めていきたい。



駅東側の民有地



賃貸契約中の駅南側空き地

#### 議員の

つぶやき

駅前の空き地は「今どうか」だけでなく、「将来どう使えるか」が大切。



椎葉 弘樹 議員



質問の様子は  
こちら

**問 「暮らしの便利帳」の  
リニューアルと広報**

**答** 支援情報を整理しHPと  
紙媒体で対応する

議員 「補助金などの支援」や「体育・文化サークルの紹介」、施設の利用方法など、町民の暮らしに便利な情報を総合的にまとめた「暮らしの便利帳」をリニューアルし、全世帯に広報する考えはないか。

課長 便利帳は一定の役割を果たしたが、社会情勢の変化やデジタル化などにより、紙

媒体に限らず、HPやSNS、

広報誌など多様な手段での情報提供が一層求められる。現状はマンパワー不足で十分に取組みれておらず、各課個別対応となっている。地域サークル情報も一目で分かる形で整理されていない。情報一元化には、主担当設置が一番良い。

町長 HPの情報が分散していると感じている。現行HPで対応可能か調査し、費用が掛からなければ令和8年度に分かりやすい掲載に取り組みたい。制度一覧は令和7年度から配布しており、これを基に詳細情報も対応しなければならぬ。

**問 持続可能なまちづくりに向  
けた建設業の担い手支援**

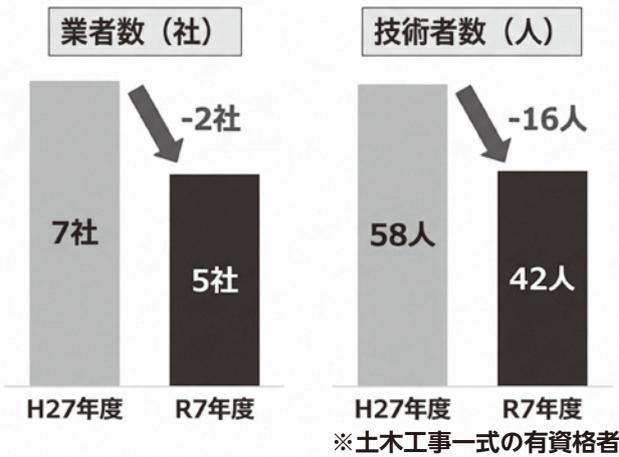
**答** 町の支援は難しいが全国  
事例などを研究したい

議員 地域の安全とインフラ維持を担う建設業の育成および確保を図るため、林業事業体と同様の支援を展開する考えはないか。

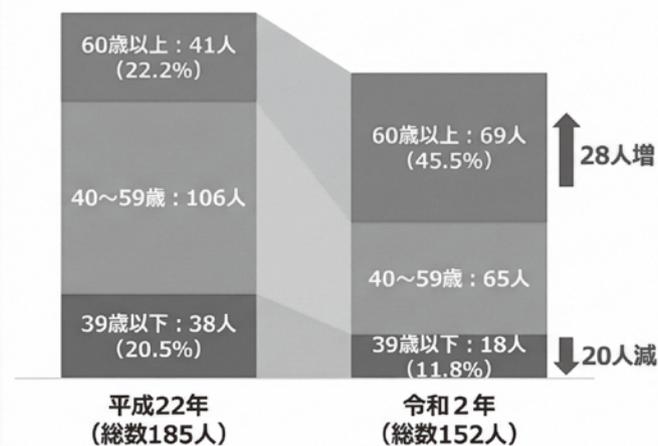
町長 公共工事では、間接費の積算で品質や安全性、利益などを確保している。林業とは制度が異なるため同様の支援は難しい。災害時に活用可

能な機材は、現行制度で取得されるため、町の支援は前向きに考えられない。全国事例などを研究し、町民の安全・安心向上につなげていきたい。

① 町内事業体・技術者数の推移 (指名願提出者・10年比較)



② 町民建設業従事者の年齢構成 (国勢調査比較)



**議員のつぶやき**  
町のインフラを支える建設業の経営基盤を守るため、町独自の支援が本当に不要なのか、現場の声を聞いて判断してほしい。



倉本 豊 議員



質問の様子は  
こちら

## 問 農業振興に関する 町単独補助事業

## 答 農業振興検討委員会の答申 を踏まえ制度設計を行う

議員 さまざまな政策の中で、町長は町の農業政策をどのように位置付けているのか。

町長 農業の施策は、伝統的な農林業の発展に向けた一番重要な課題として捉えており、総合計画の中でも最上位として位置付けている。この具体的な施策は、農業後継者や担い手の確保育成、生産基盤の整備、農地保全と有効活用、生産性の向上、農地集積、集約の取り組み、食と農の繋がりの進化などを考えて

いる。

議員 農業経営を長く安定的に続けてもらうため、補助事業の要件を緩和する考えはなにか。

課長 農業振興検討委員会の中で、今まさに議論がなされている。既存の町単独の補助事業は全て洗い出し、実績と効果なども含め検討している。

町長 検討委員会の答申や農業委員会、認定農業者の意見

などを踏まえ、また議会の皆さまにも意見を聞き、総合的な視点から施策を検討したい。

既存事業の要件では、認定農業者の場合、経営面積を1ha以上増やさなければならぬが、農家によって売上高などの増加率もその一つに入ってもいいのではないかと考える。

議員 新たな補助制度を創設する考えはないか。

課長 農業用ローンの導入は、農業振興検討委員会の中でも、導入要望が上がっている。議論がなされている。

委員会で新たな事業を町からもお示ししたが、現段階では既存のメニューの拡充や内容変更になると考える。

町長 農業用ローンの導入整備は、現行の農業機械導入支援事業で補助対象にしている。また、ローンの免許取得も前向きに対応したい。

## 農業経営の持続的な安定に向けて

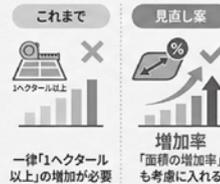
町の最優先課題としての農業振興



農業施策は  
「総合計画の最上位」

新しい支援のかたち

補助要件を緩和：  
実績と効果等も含め検討



スマート農業を推進：  
ドローン導入を支援



議員の

つづき

利用しやすい補助制度  
で、農家の所得向上を。

# 全員協議会

9月26日・10月20日・11月25日

## 主な説明事項

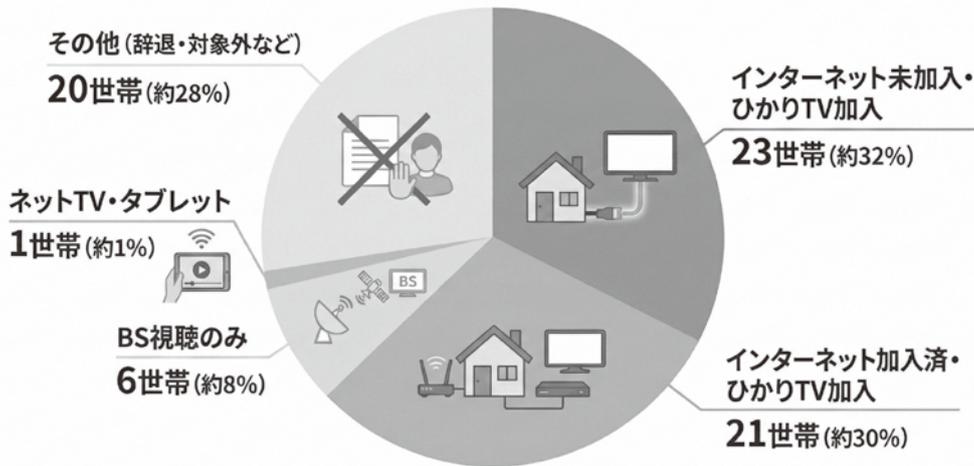
### 地デジ難視聴世帯解消支援事業 民間サービス移行の進捗状況

地デジ難視聴対策は、町の設備で再送信する方式から、民間の「ひかりTV」を活用する方式へ移行を進めています。全員協議会では、対象世帯への周知状況や契約手続きの進み具合、今後の個別対応の方向性などの説明を受けました。

難視聴世帯解消支援事業進捗状況(71世帯)

令和7年10月31日 現在

### 対象71世帯の対応状況の内訳 (令和7年10月31日現在)



### 町政懇談会の開催

#### 町の現状共有と意見を今後の施策に生かす場に

町政懇談会は、①町民と町の現状を共有、②主要施策の内容と実施状況への理解を深めてもらう、③意見や要望を今後の施策検討に生かすことを目的に開催されるとの説明を受けました。

当日は、町長あいさつの後、人口推移や産業の状況など町の現状説明に続き、第6次総合計画の重点項目(持続可能な産業づくり、移住定住・関係人口の拡大など)を紹介し、その後に意見交換が行われました。



12月13日に開催された町政懇談会の様子

#### 当日の参加状況

項目	14:00~	19:00~
	15:30	20:30
執行部	町長、副町長、教育長 各課長、担当職員	
町民	23名	7名
議員	4名	3名

議員派遣

## 一般質問は「住民のための対話」

### 熊本県町村議会議員研修(オンライン)

オンラインで行われた熊本県町村議会議員研修では、一般質問の位置づけと、質問・答弁をより良くするための「作法」を学びました。一般質問は、条例や予算などの議案審議と同等に価値があり、行政運営全般を対象に課題を掘り下げ、議会の議論を経て見解を示し、政策づくりにつなげる機会になり得ることが示されました。



一般質問の役割と作法を学ぶオンライン研修

観 点	研修で示された要点	実務での活かし方(例)
一般質問の位置づけ	議案審議と同等に価値があり、行政運営全般を対象にできる。議会の見解→執行部の議案作成→審議、という政策形成の流れも可能。	「何を変えたいか」を政策の流れ(検討→提案→議案化)で組み立てる。
誰のための質問か	二元代表制では町民が議会・行政を信託し制御する。一般質問は広く町民に対する質問・答弁でもある。	傍聴者・視聴者に伝わる説明(背景・狙い)を冒頭で明確化。
対話の姿勢	一般質問は勝ち負けではなく、町民のための「話し合い・訊き合い」。	相手を追い込む言い方より、論点が深まる問い方を意識。
事前準備(情報)	良質な情報を多く集め、他自治体なども参照し、整理して質問を詰める。	数字・根拠・比較(県内/近隣)を整理して論点を絞る。
伝え方(レーザートーク)	町民が把握できるよう、分かりやすい言葉で簡潔に話す。専門用語・略語は極力避ける。	1文を短く、用語は言い換え+必要なら補足を添える。

## 官民協働で沿線の安全と景観を守る

### くま川鉄道沿線共同除草作業(ボランティア活動)

11月10日(月)、湯前駅周辺から中里踏切までの鉄道沿線で、共同除草作業を行いました。当日は、湯前町職員・町議会議員・くま川鉄道職員が協力し、草刈りなどの作業を実施。安全で利用しやすい環境づくりに加え、沿線景観の維持にもつながる取り組みとなりました。くま川鉄道は、地域の暮らしと観光を支える大切な路線です。今後も、関係者と連携しながら、できる形で応援を続けていきます。



湯前駅周辺～中里踏切間で沿線の草刈りを実施

## 椎葉村議会・西米良議会と上球磨正副議長会との交流会 地域課題を共有し連携を深める

11月18日、ゆのまえ温泉「湯楽里」で、宮崎県西米良村議会・椎葉村議会と、上球磨正副議長会による交流会が開かれました。湯前町からは金子議長と椎葉副議長が出席し、来賓として清藤副町長が挨拶しました。交流会では、近隣自治体との連携を深めるとともに、私たちの暮らしに欠かせない公立多良木病院と上球磨消防組合の現状を踏まえ、情報を共有し、意見交換を行いました。

### 議題① 公立多良木病院の現状

公立多良木病院企業団の高森企業長と黒木事務長より、病院の現状に関する報告がありました。

#### ■多くの患者が来院、医師体制は安定

内科・外科・小児科などの主要な診療科に常勤医が配置されています。令和7年4月時点で医師は24名で、地域の医療拠点としての機能を果たしています。外来患者数は年々増加しており、特に西米良村からの患者数が増えています。一方、椎葉村からの患者数は減少しており、かかりつけ医制度の推進や訪問診療の充実に取り組まれています。

#### ■物価高騰などで厳しい経営状況

患者数は安定していますが、光熱費や医療材料費の高騰に加え、人件費も増加しています。その影響で、令和6年度の決算見込みは、病院と老健施設を合わせて赤字となる厳しい状況です。



### 議題② 上球磨消防組合の現状

上球磨消防組合の池末次長と岩野署長より、消防・救急の最前線に関する報告がありました。

#### ■救急出動が過去最多ペースで増加

令和6年の救急出動件数は過去2番目に多く、令和7年はさらに増え、過去最多を更新するペースで推移しています。高齢化の影響などにより、救急車の適正利用や現場の負担軽減が課題となっています。

#### ■広域連携で指令業務を効率化

令和6年4月から近隣の消防組合と連携し、12市町村の119番通報を一括して受け付ける「共同運用」を開始しました。指令センターでの運用は順調で、災害対応の効率化が図られています。



委員会

総務厚生文教常任委員会

11月19日、12月12日

委員長	遠坂 道太
副委員長	田山 幸平
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

- ◎教育現場の現状と課題
- ◎介護保険制度の現状

ふるさとを学び未来を育む教育

地域と連携した学びの充実と、不登校・個別支援への対応が課題に

11月19日の委員会では、町内小中学校の教育現場の調査を行いました。総合的な学習の時間を中心に「ふるさと教育」を進め、多様な立場を理解し協力して社会に参加する力(社会形成能力)の育成を目指しています。学年別では、地域人材と連携した学びが実施され、中学校でも地域貢献や伝統芸能継承、子ども議会につなげる考え方が示されました。

一方で、不登校や学力の二極化、個別支援を要する生徒への対応が課題です。今後は保護者・関係機関との連携、部活動の地域移行の受け皿づくり、担い手高齢化や職員負担への配慮など、学校だけに抱え込ませない体制づくりが求められます。

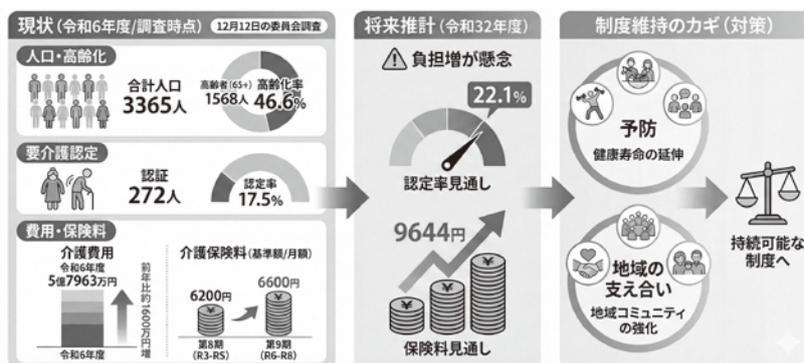
総合的な学習時間における「ふるさと教育」の内容

学年	単元名	地域人材など	学年	単元名	地域人材など
小3年生	・やさしいまちづくり ・湯前町の食文化を探そう	・社会福祉協議会 ・下村婦人会豆腐店	中1年生	・地域への貢献 ・伝統芸能の継承	・文化、歴史施設管理者
小4年生	・湯前町の環境を守る人たち ・まんがのまちゆのまえ	・水土里ネット ・地域振興局林業組合 ・まんが美術館	中2年生	・伝統芸能の継承	・里宮神社
小5年生	・特産物を探ろう ・米をつくろう	・農家、JA	中3年生	・伝統芸能の継承 ・まちづくりの提言 (子ども議会)	・球磨神楽保存会 ・東方組太鼓踊り保存会 ・浅鹿野棒踊り保存会 ・役場職員、町議会
小6年生	・輝く未来へ (未来のことをもっと知ろう)	・地域おこし協力隊、 IT実業家、役場職員、 スポーツ選手、農家、 鍛冶屋、杜氏、他			

介護保険の現状とこれから

高齢化の進行で費用・保険料は増加傾向 予防と支え合いがカギ

12月12日の委員会で、介護保険制度の現状と今後の見通しを調査しました。高齢化の進行に伴い、介護給付費や保険料の負担は増加傾向にあり、将来推計でも負担拡大が想定されています。町では、運動教室や通いの場、交流の場づくりなど、介護予防と重度化防止の取り組みを進めています。制度を将来につなぐためには、給付と負担の議論に加え、予防の充実と地域の支え合いを強め、必要なサービスを持続できる体制づくりが重要です。



## 企画経済建設常任委員会

10月14日、12月12日

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、味岡 恭、椎葉 弘樹

次の所管事務を調査しました。

- ◎鳥獣被害防止対策
- ◎水道管更新事業

## 鳥獣被害防止対策

鳥獣被害防止対策の現状と今後の取り組み方針を把握するため、調査を行いました。

## 1. 被害状況

令和6年度は、町内7地区において25件の被害が確認されました。

	瀬戸口	馬場	上猪	中猪	浅鹿野	古城	浜川
被害件数	3	5	4	4	5	1	3

## 2. 対策状況

環境整備や防護柵の設置、追い払い・捕獲などの対策が行われていますが、狩猟登録者は平成30年度の23人から令和7年度には16人へ減少し、平均年齢も69歳から75歳へと上昇しており、担い手不足が課題となっています。

## 狩猟登録者の推移

年 度	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳以上	人数計	平均年齢
H30	3人	10人	6人	4人	23人	69歳
R7	1人	2人	8人	5人	16人	75歳

## 3. 今後の取り組み方針

集落や地域住民への啓発・意識改革を進めるとともに、捕獲体制の強化に取り組む必要があることを確認しました。

## 4. 水稻、防護柵被害状況



水稻被害状況



既存柵被害状況

議会の窓

議長の窓

湯前町は何周年？

先日来おとなりの水上村の130周年、多良木町の70周年の記念行事に案内されました。多良木町は別の用件と重なったため副議長にお願いしましたが水上村の130周年に参加させていただきました。金子恭之国土交通大臣も来賓として出席され、立派な式典であったと思います。実は十年前の120周年も開催されており、10年間の村のさまざまな功労者の表彰と瀬古利彦さんの記念講演が主な内容でした。10年毎に必要なのかなという思いもありましたが、過去を振り返り、頑張ってくれた方々に感謝し、将来をしっかりと見据えることはそれなりに意味のあることと感じました。令和7年は湯前小学校も150周年でしたので調べてみると、明治22年の町村制施行のときに湯前村として136年、昭和12年の町制施行からが88年でした。この間単独の自治体として維持されているのは県内でも稀な事例と聞いています。あと12年で100周年です。今後どう変わるかは分かりませんが、先人たちの御功績に感謝し、しっかりと未来を見据え、町発展のために町ぐるみで努力していくことが大切だと思います。



式典で配布された資料

議会事務局の窓

主な議会スケジュール【12月18日～3月13日】

活動内容	日程(予定)	対応者
球磨郡町村議会議長会正副議長会議	12/24	金子、椎葉
郡議長会	1/19	金子
臨時会	1/20	全議員
熊本県町村議会議員研修会	1/20(オンライン)	全議員
県選出国會議員への要望	1/22～23 東京	全議員
議会全員協議会	1/20 2/25	全議員
球磨郡町村議会議員研修会	2/6	全議員
上球磨正副議長会議員研修会・交流会	2/24	全議員
定例会	3/6～13	全議員

## 一部事務組合

## 公立多良木病院企業団議会

## 上半期黒字決算1億7200万円

## 黒字に伴う手当支給などで増額

令和7年度、病院事業、介護老人保健施設事業、総合検診センター事業会計の補正予算(第2号)は、支出を34万1000円増額し、総額は49億8127万5000円となりました。

主な理由は、職員数の増減や異動、給与改定により人件費(6024万2000円)を減額した一方、上半期の黒字決算(1億7200万円)を受け、期末・勤勉手当の支給などの経費(6077万1000円)を増額したことが主な要因です。

## 一般質問

あさぎり町議会の小松議員、多良木町議会の久保田議員が一般質問を行いました。

<公立病院議員 西・吉田>

## 人吉球磨広域行政組合議会

## 暮らしに直結する利用料改定

## ごみ処理手数料と葬祭場(火葬など)使用料の見直し

11月27日、人吉球磨クリーンプラザ大会議室で人吉球磨広域行政組合議会が開かれました。住民生活に影響が大きい議案として、一般廃棄物処理施設と葬祭場の使用料・手数料の改定が審議されました。

## 10kg「100円」を「150円」に改定

クリーンプラザのごみ処理手数料は、前回改定(平成26年)以降の物価上昇により維持管理コストが増加していることや、県内の類似施設の手数料水準を踏まえ、見直しが行われます。ごみ排出量の抑制と、排出量に応じた負担の公平化、あわせて財政負担の軽減を図るため、手数料を改定するものです。

## 葬斎場の使用料を改定

人吉・免田・水上の各葬斎場の火葬料金は、これまで料金改定が行われておらず、施設ごとに料金体系も異なっていました。今回の改定では、現行料金が県内平均を下回っている状況や、使用区域外料金の設定の考え方など、県内自治体の状況も参考にしながら料金体系を整理し、使用料を見直すものです。

種別	区域別	改正前料金			改定後料金 3斎場共通
		人吉葬祭場	免田葬祭場	水上葬祭場	
大人 (満15歳以上)	使用区域	1万円	1万2000円	1万2000円	1万5000円
	区域外	2万5000円	2万5000円	1万6000円	4万5000円
小人 (満15歳未満)	使用区域	8000円	1万円	1万円	1万円
	区域外	1万6000円	1万6000円	1万4000円	3万円
死産児	使用区域	5000円	9000円	1万円	5000円
	区域外	1万円	1万3000円	1万4000円	1万5000円
改葬	使用区域	3000円	9000円	1万円	5000円
	区域外	6000円	1万3000円	1万4000円	1万5000円
その他	使用区域	2000円	9000円	1万円	5000円
	区域外	6000円	1万3000円	1万4000円	1万5000円

使用区域：人吉球磨、区域外：人吉球磨以外

<広域行政議員 遠坂・田山>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

## テーマ 子ども議会に参加して



湯前中学校  
3年  
藤岡 祐将 さん

○参加しての感想は？

湯前町の課題を事前に班で考え、みんなで調べたり、まとめたりする事の難しさや協力する大切さを学ぶことができました。また、子ども議会で自分の言葉で発言することができ、貴重な経験になりました。



湯前中学校  
3年  
那須 あかりさん

○議会の印象は変わりましたか？

議会の前は、緊張した雰囲気だという印象があり不安でしたが、当日は事前に準備していた以外の質問もできるほど、温かい雰囲気の中で発言することができました。

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。Tel 0966-43-4132

## 『議員・風刺や時代を読む』

## 漫画作品と議会のコラボ企画

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。



『お米の悪夢』 那須 良輔 氏

▶日本の米の生産は、1960年代が最も盛んであり、この作品が掲載された1967年(昭和42年)には、史上最大の収穫量である1445万tに達しました。しかし、パンや麺類の普及といった食生活の多様化などを理由に、次第に日本は米余りの状況に陥っていきます。お米が好きなはずの鼠も、人間も溺れるほどの米が国にあふれているという状況を、「悪夢」として描いています。

▶本年度は、いわゆる「令和の米騒動」と呼ばれる状況になりました。国内の米不足により価格が上昇したため、政府は備蓄米を放出しました。

(遠坂)



### ◆ 広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 田山 幸平  
副委員長 椎葉 弘樹

委員 遠坂 道太  
西 靖邦  
吉田 精二

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

